

## 立ち止まり対話するための助成金「AKBN（アケボノ）ファンド」 助成事業報告書（一般社団法人 Camp）

### 1. 振り返りエッセイ

平成 29 年 7 月九州北部豪雨から活動を行ない、復旧活動から復興活動へと移り変わると同時に、持続可能な活動を目指し法人格取得する。2 年が経過した現在、私たちは地域に認めてもらうためにがむしゃらに活動を続けてきた。その結果、地域に常駐しているメンバーと、仕事の合間を利用して活動しているメンバーとの間に意識のずれがあることを認識するも、目先の活動を実施する事に手一杯になっていた事で、「いつでもできる」話し合いを後回しにする傾向になってしまっていた。そんなときに「AKBN ファンド」を見つけ、後回しにしてきた話し合いを意図的に優先させることができるのではないかと応募した。

採択通知を受けてから、じっくりと話し合いの出来る合宿計画を立てる。これまでは常駐メンバーですべてを決めていたが、地域外メンバーに会計、スケジュール管理、外部対応などの役割を振ることで他人事から自分事へと意識を変えた。①立ち止まり対話合宿。2 泊 3 日の合宿では活動地域を離れメンバーのみでみっちり話し合い今後の方針、それぞれが考えるビジョンを共有・深掘りすることに専念した。地域を離れることで常に頭の片隅にある「活動」を切り離すことができた事で「話し合い」に集中することができた。②自分とメンバー、活動地域と他地域の比べる合宿。主要メンバーでの 4 泊 5 日の外部研修を実施。高知県黒潮町を訪れ南海トラフ地震によって最大級の津波が予測されている町での取り組みに触れる事が出来た。災害発生前から役場職員全員が各地区に割り当てられ町ぐるみで防災訓練を実施する。津波タワーがいくつも立てられ地域の方の意識高さや、語り部の方の伝え方、地域での防災活動の在り方を知れた。また、黒潮町では最大級の津波が予想されている為、住民や観光客が離れていっているが、砂浜の見方を変えた取り組みや、民泊と料理教室、夜間避難訓練を実施など、地域活性化の魅力発信も学んだ。黒潮町の方も実際の災害を知らないということで、「朝倉市のように自然災害を受けた地域がどのような取り組みをしているのか学ぶために訪れたい。」と今後の相互の交流に繋げることが出来た。

本助成を受け、これまでは突発的に行なっていた会議や一部のメンバーによる企画・運営方式から、発足当初のメンバー全員参加型へ戻すことが出来た。昨今の世情により当初の計画とはいかなかったが十分すぎる成果を得る事が出来た。

メンバーの声として、「長時間一緒にいると、メンバーの知らない事を知れる。それが良い悪いではなく、顔の分かるメンバーから腹を割って話せるメンバーに成れたのだと思う。」まさに、本プロジェクトの成果だったといえる。

今後の課題として「立ち止まり対話する」の標準化を目指す取り組みの必要がある。

## 2. 支出報告書

決算会計報告		
種別	内容	収入金額
<input type="checkbox"/> 本助成金	AKBN ファンド想いと向き合う or 数字と向き合う（選択）	200,000 円
<input type="checkbox"/> その他	自己負担金	887 円
費目	対象・使途・目的・内訳（具体的な詳細を記入）	支出金額
<input type="checkbox"/> 人件費		
<input type="checkbox"/> 諸謝金	講師謝礼	10,000 円
<input type="checkbox"/> 賃借料		
<input type="checkbox"/> 会議（飲食）費		
<input type="checkbox"/> 消耗品費	消毒・文房具	4,442 円
<input type="checkbox"/> 旅費交通費	高速道路料金、燃料費、フェリー料金、駐車料金	59,255 円
<input type="checkbox"/> 印刷製本費		
<input type="checkbox"/> 新聞図書費		
<input type="checkbox"/> 研修費	黒潮町防災プログラム（4名分）	60,340 円
<input type="checkbox"/> 通信運搬費		
<input type="checkbox"/> その他	車両レンタル費、宿泊費	66,850 円
<input type="checkbox"/> 未使用残額		
合計金額		200,887 円

## 3. 助成プログラムへのフィードバック

この度はメンバーと過ごし、有意義な時間を過ごす機会をくださり誠にありがとうございます。日頃、蔑ろにしがちな「立ち止まって話し合う」という時間がどれほど平時の活動に影響を与えるものなのか、深く感じることができました。私たちの活動を今後も持続可能にしていくためにも、これからは「立ち止まって話し合う」ことを意識し、メンバー内での意識向上に繋げていこうと思います。また、私たちはまもなく設立3周年を迎えました。まだまだ未熟で無知なところがたくさんあります。今後も多くの壁にぶつかることと思います。その際は活動の継続・地域発展のために資金面以外でもご相談にのっていただけると幸いです。今後も組織の内部強化のための支援を期待しております。メンバーからもこの助成プログラムの評価はとても高かったです。ありがとうございました。